

初期臨床研修の教育評価に関する検討

2004年から運用されている初期研修制度は、新卒医師が専門の診療科を決める前にローテート方式によって多くの診療科で研修することにより幅広い臨床技能を身につけることを意図している。研修指定病院にとって、教育は医学研究、臨床による地域貢献とともに重要な役割である。新卒医師への教育の質の低下は将来の医療の質を下げることにつながり社会的損失が大きく、新卒医師である初期研修医の教育の場となる研修指定病院において質の高い教育環境を準備し研修医の臨床能力をあげることは重要な任務である。しかし、どういった教育環境が良いのかは定まっていない。本研究の目的は、JAMEPにより集計された基本的臨床能力評価試験のスコアを元に、各研修指定病院、各都道府県、各研修医のどのような因子が研修医教育に影響を与えているかを検討することである。各研修医のスコアを、所属する病院、都道府県の階層性のあるデータとして扱い混合効果モデルを用いて解析する。